



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 本体の吊込み後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あることを確認してください。本体と枠の間に、すき間が生じたり、本体が枠から外れやすくなりケガや故障の原因になります。
- 可動障子を取付ける際は、取外したときと同じ向きに取付けてください。向きを間違えますと脱落などにより、ケガや故障の原因となります。

### ■取付け上のお願い

- 本製品は障子紙が張ってあり、ガラスも組込んでいるため、工事中は梱包状態のまま、室内の安全な場所に保管してください。
- 紙の張替えの際、格子の糊残りをヘラ・カッターなどで削り落とすと、格子を傷めますので使わないでください。
- 糊は市販の澱粉糊又は、有償部品「張替え用のり」以外は、使用しないでください。表面の樹脂シートを傷めます。
- 障子紙はアイロンで張るタイプは使用しないでください。表面の樹脂シートが溶けるおそれがあります。
- 建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

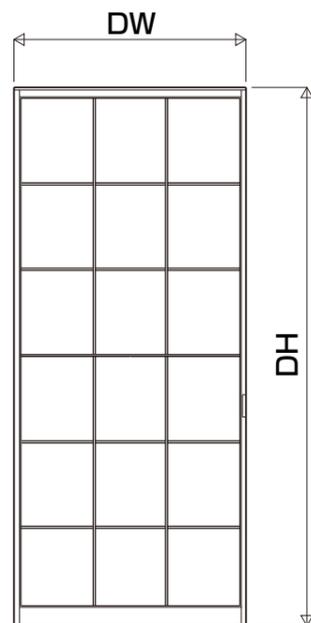
### ■部材の明細

#### ●二枚建て用本体



(1枚梱包)

### ■製品寸法



#### 〔在来用〕

(単位mm)

呼称	DW	DH
二枚建	16520	2008

## ■本体の建付け調整

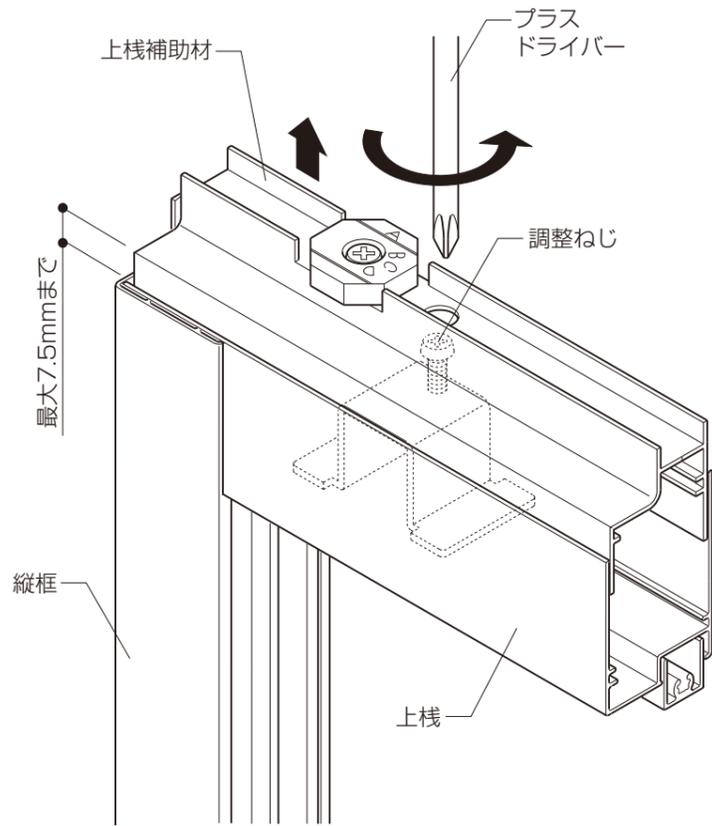
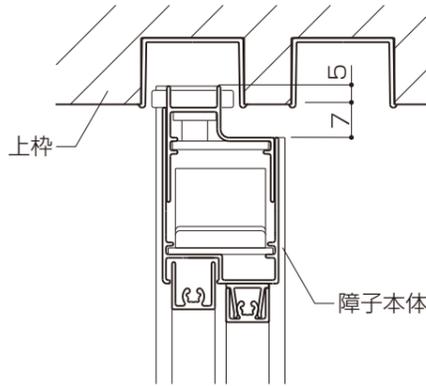
### 1 上下方向の建付け調整

#### ■戸首のかかり寸法の調整（障子の出来高さ調整）

- 本体の戸首の鴨居へのかかりが少ない場合は、上棧の調整ねじ穴に、プラスドライバーを差込んで左に回します。調整量は+7.5mm、-0mmです。（又、適正な戸首の鴨居へのかかりは5mmです。）

#### ▲ 注意

- 本体吊込み後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あることを確認してください。



### 2 建付け調整

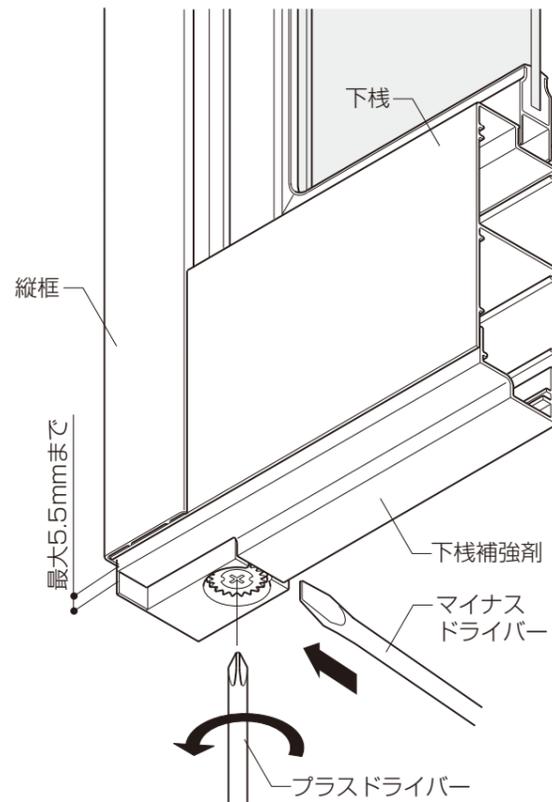
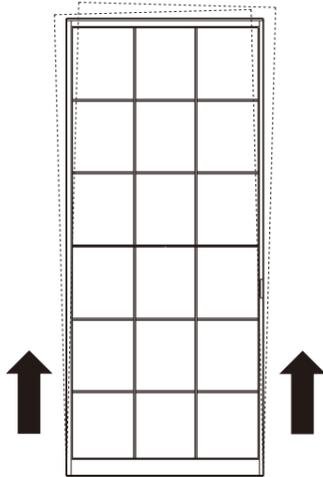
- 本体の下棧には、上下の建付け調整機能が付いています。調整量は+5.5mm、-0mmです。

#### 【本体を吊込んだまま調整する方法】

- 本体を少し持ち上げ、上下調整ねじのダイヤルをマイナスドライバーで左に回します。

#### 【本体を外して調整する方法】

- 下棧の底の調整ねじをプラスドライバーで左に回します。

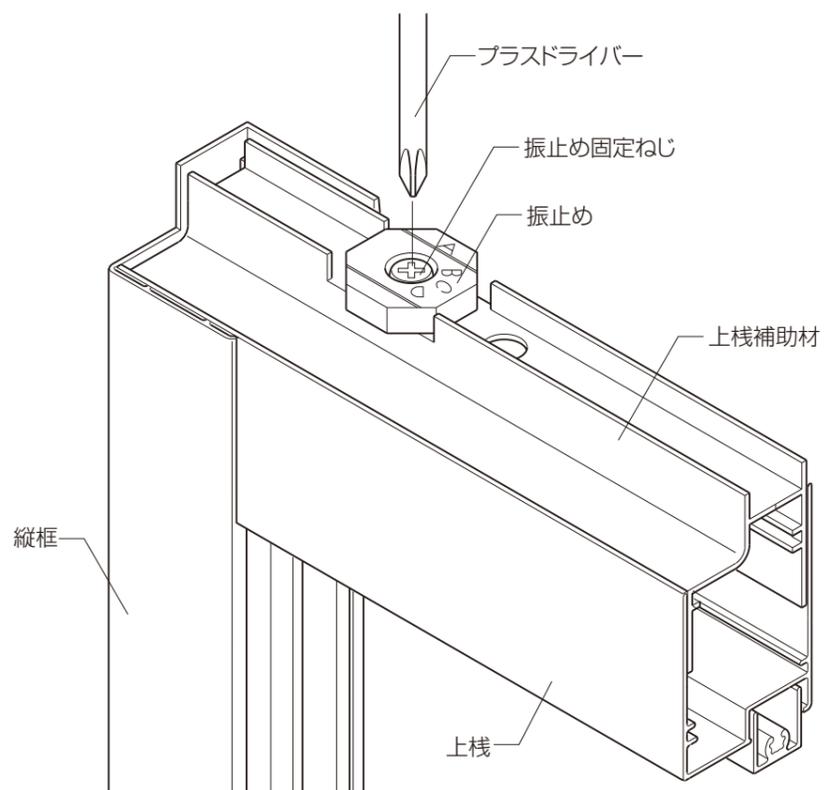
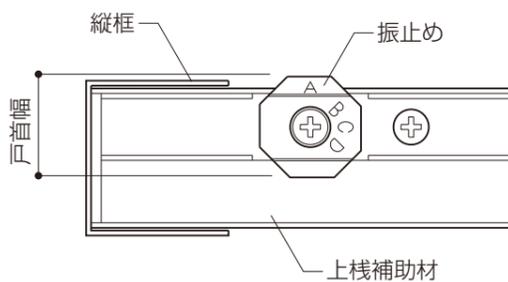


### 3 戸首の鴨居溝内部の調整

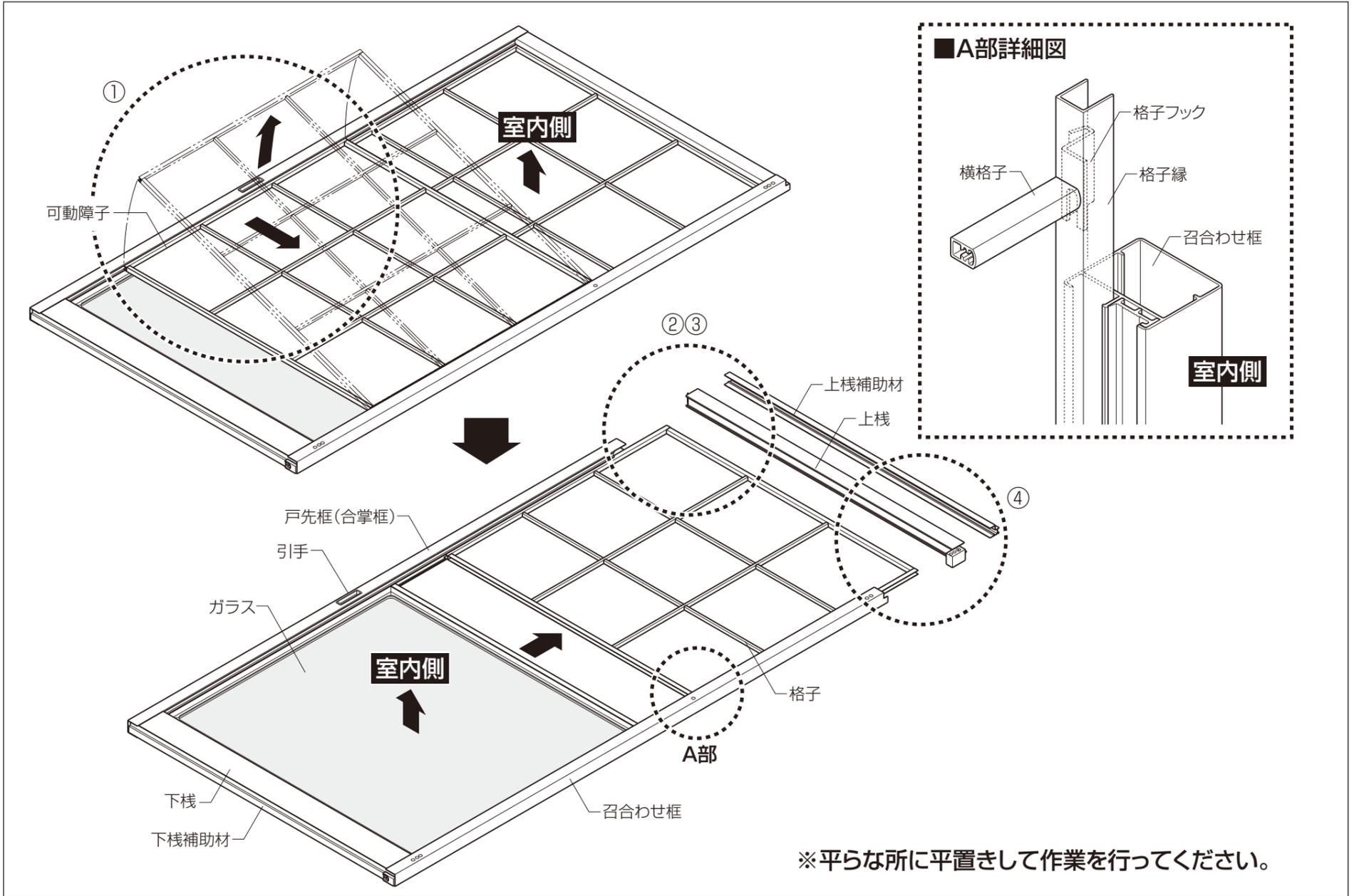
- 溝内部で戸首のガタツキが大きい場合に調整します。上棧上部の振止め固定ねじをプラスドライバーで緩め、振止めの八角面を回転させて調整します。八角面を決めたら、面を上棧と平行にして、固定ねじで締付けます。

(単位:mm)

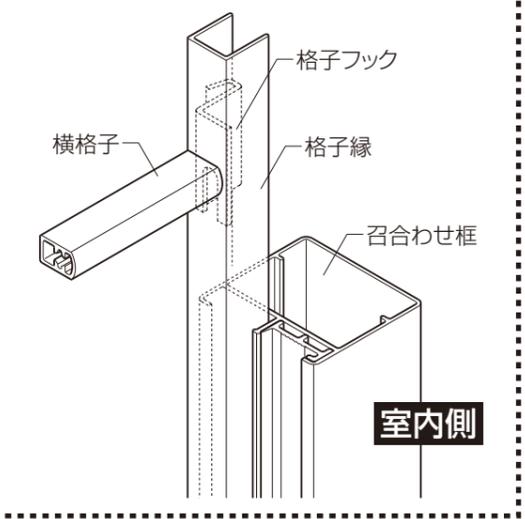
八角面	戸首幅
A面	19.5
B面	20.0
C面	20.5
D面	21.0



■現地での障子紙の張替え方法



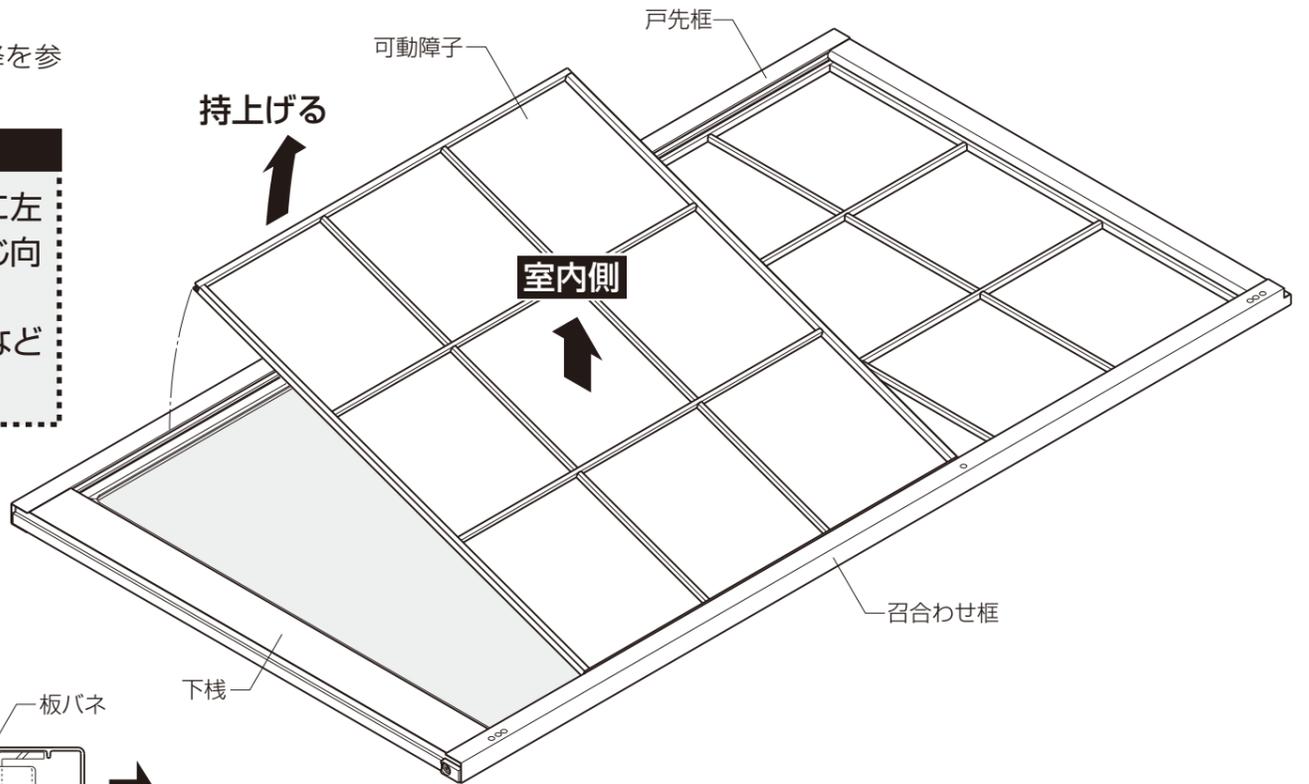
■A部詳細図



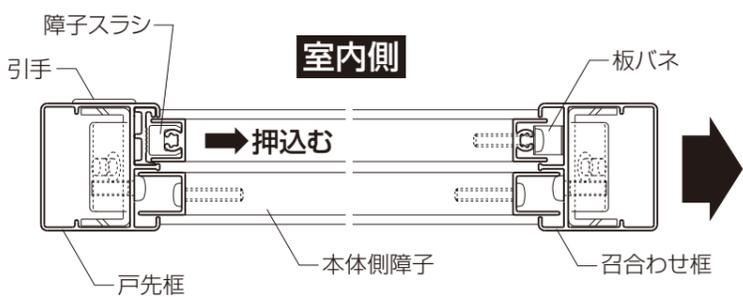
①可動障子を格子面から見て右側に押し込み、持ち上げて外します。  
 ※可動障子の障子紙を張替える場合は、⑤以降を参照してください。

▲注意

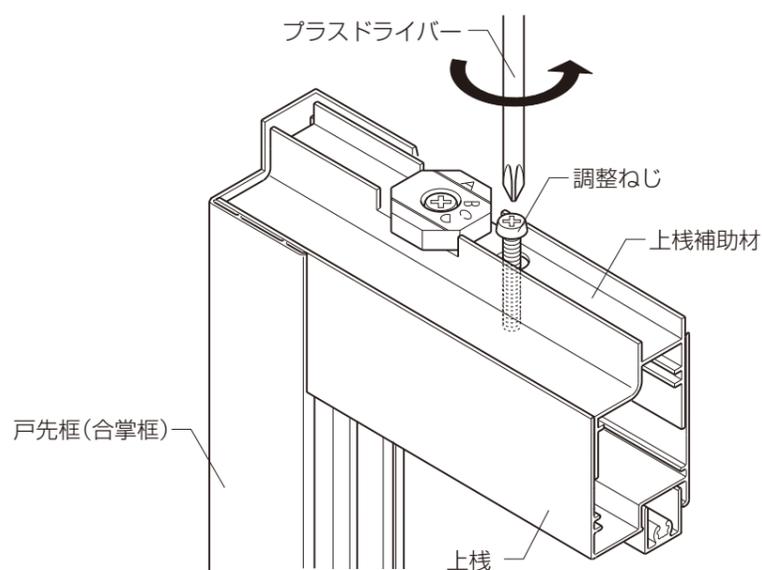
●可動障子を取付ける際は、可動障子に左右がありますので、取外したときと同じ向きに取付けてください。  
 取付けを間違えると、可動障子の脱落などにより、ケガや故障の原因となります。



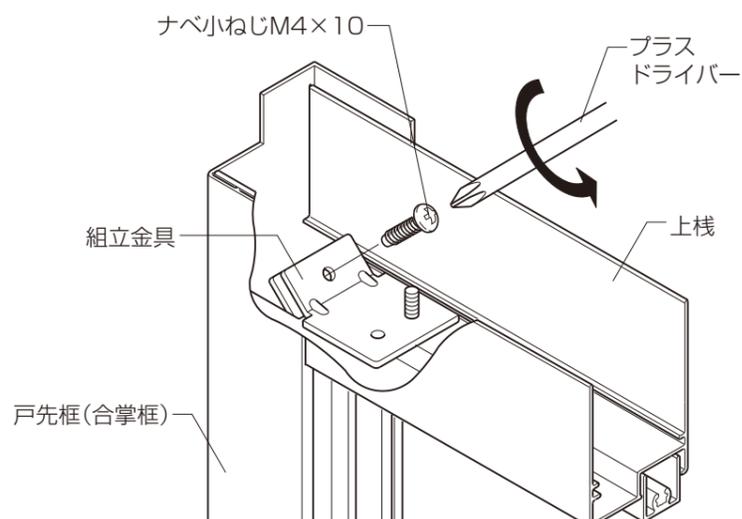
■本体下部からの見上げ図



②上棧の補助材の調整ねじを左に回してゆるめ、上棧補助材を外します。



③上棧の戸先框側に付いている組立てねじ（ナベ小ねじM4×10）を外します。



④上棧を縦框から真上に引抜きます。

⑤障子紙を裏面から、水分を含ませたハケなどで十分にしめらせ、下の方から静かに棒で巻取ると簡単にはがせます。

※ヘラ・カッターなどで削り落とすと格子を傷めるのでおやめください。

紙や糊の残りがあるときは、やわらかいスポンジに水分を十分含ませ拭取ってください。格子の裏面には、下地処理剤が塗ってあり、濡れると多少白化しますが、下地処理剤はタワシ・ヘラなどではがさないでください。

障子紙が付かなくなります。

⑥市販の澱粉糊で、障子紙を張ります。紙は格子より10mm程度大きく張ってください。

※障子に結露が発生する場所でご使用になる場合には、結露水による紙のハガレ防止のため、有償部品「張替え用のり」の使用をおすすめします。

※有償部品として、張替え用の「障子紙（強力和紙）」も用意してあります。

※澱粉糊又は、「張替え用のり」以外は使用しないでください。表面の樹脂シートが傷みます。

※市販のアイロンで張るタイプの障子紙は使用しないでください。表面の樹脂シートが溶けるおそれがあります。

⑦格子の角にカッターなどをあてて紙を切断します。

※格子の見付け部分にカッターをあてると、格子にキズが付くのでおやめください。

⑧格子を縦框の上から差込みます。

※縦框と格子に付いている金具どうしがかみ合うように差込んでください。

⑨上棧を縦框に差込み、②③で外したねじを取付けます。上棧補助材を上棧に取付け、調整ねじを締めます。

